

■ 2008年10月15日(水曜日)

平成20年度 9月補正予算が成立

10月10日に閉会した9月定例県議会で、一般会計で43億4千万円余の補正予算が可決成立しました。今回の予算では、今年度に入ってから「原油・原材料価格の高騰に対応した追加施策」、国内外で発生した地震災害の教訓などを活かした「県民の安全・安心の確保に向けた施策」、この秋に策定する「新環境基本計画を見すえた施策」の3点に重点を置いています。また、2年目を迎える「福井新元氣宣言」に掲げた政策についても、さらにステップアップさせていきます。

原油・原材料価格高騰に追加対策

県では、とりわけ厳しい経営環境にある中小企業者や農林漁業者などに対する県独自の緊急対策を去る7月31日に取りまとめ、すでに実施しています。

今回の補正予算では、これらの対策に加え、これから冬に向けての追加対策を行います。

●省エネ設備の導入を支援

施設園芸農家が導入する省エネルギー型設備(ヒートポンプ、二重カーテン、木質ペレットの加温装置など)の導入を支援します。また、原油価格の高騰に対応できる経営体質の強化を図るため、農業近代化資金などの無利子貸付の融資枠を拡大します。



漁師さんがとれたての魚を販売する「漁業者直販さかな市」と、旬の野菜が並ぶ「ふくい特産市」を開催します。

日時／10月21日(火)10:00～14:00

場所／(1)漁業者直販さかな市 県庁前広場(雨天時:県庁ホール)
(2)ふくい特産市 県農業会館前

問／(1)水産課 0776(20)0436
(2)販売開拓課 0776(20)0421



安全・安心を確保

学校や社会福祉施設の耐震化など、県民生活の安全・安心を確保します。

●耐震化を促進

地域住民の避難場所にもなる小中学校の耐震化を促進するため、今年6月に補助率の引き上げを行うなど、市町の実質的な負担を軽減しました。今回の補正予算では、1棟当たりの補助対象経費の限度額を撤廃し、また、私立学校や社会福祉施設の耐震化についても、耐震診断を支援します。

●その他の安全対策

災害により破損した防波堤や道路の復旧、福井城址天守台跡の安全対策、交通安全施設の整備を行います。



耐震補強工事中の小学校

新環境基本計画を策定へ

この秋に策定する新環境基本計画を来年度から本格的に実施していくために、いち早く対応することが必要な事業を行います。

●ふくい環境一貫学習推進事業

子どもの頃から環境の大切さを意識してもらおうと、来年度から県内の小・中学校などで環境教育を実施します。これに先駆けて、身近な動植物など福井を例にした全国初の副読本を制作します。また、本県の環境教育が全国モデルとなるようなシステムをつくっていきます。

●環境ふくいCO2削減貢献事業

企業や県民が、自らが排出するCO2の量などに応じて提供する資金を、地球温暖化の防止に役立てようという「カーボンオフセット」について、県内にその資金の受け皿を作り、本県独自のCO2削減活動を展開します。



カーボンオフセットの資金は、森林整備などに役立てられます

●自然再生ふくい行動推進事業

トンボやチョウ、ホタルやメダカなど、かつてはどこにでも見られた身近な動植物を、近くの小川や田んぼ、家のまわりで再び見ることができるよう、県民一人ひとりが身近な自然を守り育む県民活動を推進します。

●環境ふくい県民会議(仮称)の設立

県民、事業者、関係団体、行政などが協力して「環境ふくい県民会議(仮称)」を設置し、「LOVE・アース・ふくい」や「おいしいふくい食べきり運動」などの環境に関する県民運動を一体的に展開します。

福井新元気宣言を推進

●学校マネジメント改革の具体化

保護者や地域住民がボランティア活動を通じて、教員の教育活動を応援できるよう、地域と学校を結びつけるコーディネーターを中学校に配置します。

●キッズデザイン「子どものまち」づくり

道路環境の整備や見守り活動の強化など、子どもたちが安全に外出したり、遊んだりできる「子どものまち」をつくるため、モデル地区での地域住民が主体となった活動を支援します。

●観光客誘致

小松空港における上海便の増便、台湾定期便の就航などの効果を生かし、東アジアからの観光客の誘致を一層促進します。また、来年度春夏シーズンの旅行プランを募集、選考します。

●地域交通の整備

福井鉄道福武線の安全確保を図るため、今年度中に必要な線路や鉄橋などの整備に対して支援します。

●ジェロントロジー（総合長寿学）を生かした高齢化集落の調査・研究

高齢化の進んだ集落について、市町との連携のもと、大学の協力を得ながら、医療、交通、農業など現地ヒアリングを含めた実態調査を行います。



現地調査の結果を話し合う子どもたち

補正予算とは

県の仕事は、毎年、予算という形で2月から3月に開かれる県議会に諮り、決めることになっています。これを年度の初めに定める予算ということで、当初予算と呼びます。

しかし、実際に仕事を進めるなかで、新たに緊急に予算が必要になったり、変更したりする場合があります。これを補正予算といいます。

9月補正予算の主要施策

(単位:千円)

区分	事業名	予算額
原油・原材料価格高騰に追加対策	新 省エネルギー型施設園芸転換促進事業	18,000
	省エネルギー型設備導入への無利子貸付の融資枠拡大〔融資枠6億円拡大〕	583 〈債務負担行為〉12,280
安全・安心を確保	【施設等の耐震化促進】	
	拡 公立小・中学校耐震化の促進	3,400
	私立学校・社会福祉施設の耐震診断の促進	26,138
	【災害復旧】	
	港湾施設災害復旧	109,510
	道路公社貸付金	149,800
【施設等の安全対策】		
福井城址天守台跡安全対策事業	14,800	
【交通安全対策等】		
交通安全施設等整備事業	81,889	
新環境基本計画を策定へ	新 ふくい環境一貫学習推進事業 電源	29,300
	新 環境ふくいCO2削減貢献事業 共働	980
	新 自然再生ふくい行動推進事業	1,470
	新 環境ふくい県民会議(仮称)の設立	950
福井新元気宣言を推進	【元気な社会】	
	新 学校支援ボランティア活動促進事業 共働	3,253
	新 教育支援機能の強化	—
	キッズデザイン「子どものまち」づくり事業 共働	3,240
	【元気な産業】	
	拡 東アジア観光客誘致促進事業	4,500
	「ビジットふくい」観光客誘致拡大事業	〈債務負担行為〉25,000
【元気な県土】		
福武線設備更新特別支援事業	92,027	
【元気な県政】		

新 とあるのは、新規事業です。

拡 とあるのは、事業内容の拡充を行った事業です。

共働 とあるのは、地域住民やボランティアなど県民の皆さんと力を合わせ、共に活動する事業です。

電源 とあるのは、本県等の提案により用途が弾力化した国の電源交付金・補助金を有効に活用して実施する事業です。

詳しい内容は、[県のホームページ](#)に掲載されていますので、ご覧ください。

この記事に関するお問い合わせは、次の課までどうぞ 県財務企画課 0776(20)0234

 **BACK**